

施策評価調書(1)

評価対象年度 30年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)建設管理課／(都市計画部)みどり課・公園課・赤山歴史自然公園整備室

●施策の基本方針(目標)

本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(平成32年度)	現状値	44.8(平成27年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	46.7	47.9	47.4		
	名称	親水護岸の整備延長			単位	m
指標②	目標値	3,240(平成32年度)	現状値	1,830(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	1930	2085	2,085		
	名称	保全すべき緑地の確保			単位	m ²
指標③	目標値	200,000(平成32年度)	現状値	196,473.51(平成26年度)	達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値	187253.82	181884.82	185,003.32		
	名称				単位	
指標④	目標値				達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	
指標⑤	目標値				達成状況	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標年度)
	実績値					
	名称				単位	

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度計画額
事業額	事業費	1,173,687	1,874,026	1,025,129	3,335,915	903,278
	概算人件費	101,200	117,078	153,418	111,153	111,943
	総事業費	1,274,887	1,991,104	1,178,547	3,447,068	1,015,221

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策①	単位施策②	単位施策③	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	A			53.5	

施策評価調書(2)

評価対象年度 30年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 水辺環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度の総評価	令和元年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)	事業費(計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41100101	芝川緑化期成同盟会補助金	建設部 建設管理課	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	54	現状維持で実施
			7,954	7,566	7,663	7,663	7,663		

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度の総評価	令和元年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(予算額)	事業費(計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
41200101	緑化推進事業	都市計画部 みどり課	19,108	14,177	15,177	20,511	20,511	52	現状維持で実施
			15,580	14,040	14,220	14,220	14,220		
41200201	緑地保全事業	都市計画部 みどり課	22,955	21,523	19,607	18,591	18,591	56	拡充して実施
			24,600	23,400	23,700	31,600	31,600		
41200211	荒川運動公園施設運営費	都市計画部 公園課	—	20,293	20,670	25,253	25,253	52	現状維持で実施
			—	3,120	3,160	3,160	3,160		
41200221	都市公園指定管理者管理費	都市計画部 公園課	320,520	320,520	320,520	323,489	326,456	54	現状維持で実施
			1,230	1,170	3,160	1,185	1,185		
41200233	生産緑地等管理業務システム化事業	都市計画部 みどり課	—	—	1,220	—	—	44	完了
			—	—	23,700	—	—		
41200244	青木町公園改修事業	都市計画部 公園課	—	—	218,484	—	15,000	52	休止
			—	—	1,580	—	790		
41200253	川口西公園改修事業	都市計画部 公園課	—	—	24,854	21,000	21,000	58	現状維持で実施
			—	—	2,370	2,370	2,370		
41200301	荒川運動公園整備事業(平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	54,708	—	—	—	—	—	—
			3,280	—	—	—	—		
41200501	仮称前野宿川公園整備事業(平成30年度休止)	都市計画部 公園課	18,776	—	—	—	—	—	—
			1,230	—	—	—	—		
41200601	仮称石神西立野第7公園整備事業(平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	42,304	—	—	—	—	—	—
			2,050	—	—	—	—		
41200701	仮称戸塚東部第2公園整備事業(平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	23,643	—	—	—	—	—	—
			1,640	—	—	—	—		
41200731	青木町公園駐車場整備事業(平成29年度をもって完了)	都市計画部 公園課	—	76,075	—	—	—	—	—
			—	2,730	—	—	—		
41200771	仮称前川3丁目第6公園整備事業(平成29年度をもって完了)	都市計画部 公園課	—	33,966	—	—	—	—	—
			—	2,730	—	—	—		
41200804	赤山歴史自然公園整備事業	都市計画部 <small>赤山歴史自然公園整備室</small>	665,147	1,369,474	388,089	2,921,021	470,417	54	現状維持で実施
			39,536	34,242	46,215	47,005	47,005		
41200901	緑の日推進事業	都市計画部 みどり課	1,800	1,500	1,500	1,500	1,500	52	現状維持で実施
			1,640	2,340	2,370	2,370	2,370		
41200951	第2次緑の基本計画策定事業	都市計画部 みどり課	—	8,003	7,776	—	—	54	完了
			—	23,400	23,700	—	—		
41201201	公園施設長寿命化計画策定事業	都市計画部 公園課	3,726	7,495	6,232	3,550	3,550	53	現状維持で実施
			2,460	2,340	1,580	1,580	1,580		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	41100101	事業名称	芝川緑化期成同盟会補助金			事業区分	通常事業
担当	建設部	建設管理課	問い合わせ先	258-1110(#33-5211)		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ① 水辺環境の整備					
根拠法令等	芝川緑化期成同盟会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	芝川緑化期成同盟会			旧芝川周辺を利用する市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	行政による河川環境整備に加え、地域住民の理解と協力を得ながら旧芝川の緑化整備を促進し、もって川口市の都市環境改善に寄与することを目的とする。			河川敷清掃、緑化事業及び県への要望活動等に対して経費の一部を補助する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷清掃 要望活動 植栽 			項目	実績	単位
				河川敷清掃	439	人
				要望活動	1	回
			植栽	720	株	
事業の成果 【定性的評価】	旧芝川の緑化整備が促進されたこと及び県の整備事業等の進捗により、都市環境の改善に貢献した。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧芝川河川敷に植栽した株数			指標・目標値の説明(算定式)	毎年度樹木等の価格変動を反映して設定している。				
	単位	株	指標の種別	活動						
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況	360		432		720				
	360		達成		720		達成		達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	01項	01目	004細目	01細々目	芝川緑化期成同盟会補助金			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	1,000	1,000		1,000		1,000		1,000		
決算額(B)=(C)+(D)	1,000	1,000		1,000						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,000		1,000		1,000		1,000		
概算人件費(E)	7,954		7,566		7,663		7,663		7,663	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00	0.97	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,954		8,566		8,663		8,663		8,663	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	会員及び事業費が年々減少するなか、事業をどのように継続していくかが課題である。今後の同盟会のあり方について、総会や委員会等で検討を依頼する。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	41200101	事業名称	緑化推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-6335	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民、市民ボランティア、事業者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進めるため。	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・公園花壇や街路の花壇スタンドなどのボランティア活動支援 ・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集 ・苗木の配布、生け垣設置・屋上緑化等の補助 		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・ボランティア活動への草花資材等の支給及び補助金の交付 ・フラワーロード4路線でスポンサー企業・団体募集 	項目	実績	単位
		<ul style="list-style-type: none"> フラワーロードでのスポンサー募集事業 苗木等の配布 		4
事業の成果 【定性的評価】	<ul style="list-style-type: none"> ・建築主に緑化指導を行ったことにより緑が創出され、ヒートアイランド現象の緩和に貢献した。 ・ボランティア活動により緑のまちづくりが推進された。フラワーロードのスポンサー企業・団体からの協賛金をボランティア活動の支援に活用した。 			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ボランティア団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況	95	達成	88	未達成	92	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	002細目	01細々目	緑化推進事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	24,293	21,232		18,685		20,511		20,511		
決算額(B)=(C)+(D)	19,108	14,177		15,177						
財源※	特定財源(C)	9,568	6,075		5,174		9,015			
	一般財源(D)	9,540	8,102		10,003		11,496			
概算人件費(E)	15,580	14,040		14,220		14,220		14,220		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,688		28,217		29,397		34,731		34,731	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ボランティアの高齢化により、今後、活動の減少、団体数の減少が懸念されるため、新たな担い手を得るための情報収集及び周知を行う。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	41200201	事業名称	緑地保全事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	258-1110(#33-5324)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	ふるさと埼玉緑を守り育てる条例、埼玉県身近な緑公有地化事業実施要綱、川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。	緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者に対し奨励金を支給。保全緑地等の所有者等の申請を随時受付し剪定費用の補助として管理経費補助金を保存樹木については10万円、保全緑地は30万円を上限として支給。	項目	実績	単位
		保存樹木等管理奨励金	184	人
	保存樹木等管理経費補助金	6	件	
事業の成果 【定性的評価】	公有地等で緑地の管理を行っている自然再生活動団体に対し助成金を支給し、適正な管理活動により良好な緑地空間の形成が図られた。保存樹木等管理経費補助制度においては、6件の申請があり適正な緑地等の管理が図られた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者(管理者)からの申請件数					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況	10件		10件		10件		10件		10件	
	5件 未達成		12件 達成		6件 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位										
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	003細目	01細々目	緑地保全事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	26,936	23,532		20,886		18,591		18,591		
決算額(B)=(C)+(D)	22,955	21,523		19,607						
財源※	特定財源(C)	2,138		2,502		5,343		3,847		
	一般財源(D)	20,817		19,021		14,264		14,744		
概算人件費(E)	24,600		23,400		23,700		31,600		31,600	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,555		44,923		43,307		50,191		50,191	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
56 /60	保全緑地等については、所有者に事業への理解と協力を得ていくこと及び所有者への保全緑地等の管理に関する負担軽減が課題であったため、平成31年度より奨励金額について緑地1㎡あたり市街化区域については85円に増額し、市街化調整区域については、現行の額を継続して支給する予定。	元年度	拡充して実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	41200211	事業名称	荒川運動公園施設運営費	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先 258-1110(#33-5332)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	項目	実績 単位
		バーベキュー場利用者数	16,573 人
事業の成果【定性的評価】	地域住民が安心・安全に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	03細々目	荒川運動公園施設運営費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	—	39,178		21,591		25,253		25,253		
決算額(B)=(C)+(D)	—	20,293		20,670						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	20,293		20,670		25,253				
概算人件費(E)	—		3,120		3,160		3,160		3,160	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—		23,413		23,830		28,413		28,413	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	今年度について、8月の利用が気候等の要因により、利用者数が比較的少なかったため、サービスの内容の見直しを図ることで、利用者が安全で快適に利用できるよう引き続き事業を継続していく。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	41200221	事業名称	都市公園指定管理者管理費	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先 258-1110(#33-5332)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市公園緑地公社 (一社)川口市造園業協会	公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	02細々目	都市公園指定管理者管理費			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	320,520	320,520		320,520		323,489		326,456		
決算額(B)=(C)+(D)	320,520	320,520		320,520						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	320,520	320,520		320,520		323,489			
概算人件費(E)	1,230	1,170		3,160		1,185		1,185		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.40	0.00	0.15	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	321,750	321,690		323,680		324,674		327,641		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	公園利用者の安全性と快適な利用環境を確保するため、引き続き事業を継続する必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	41200233	事業名称	生産緑地等管理業務システム化事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先 258-1110(#33-5324)	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市個人情報保護条例 個人情報取扱特記事項 その他関連法令

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	職員	市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	平成4年12月10日に決定告示された生産緑地地区の資料を整理し、2022年に想定される生産緑地の買取申し出の一斉申請に対応しうる基礎資料となるデータベースの構築を実施し、窓口や電話での市民からの問い合わせ等に寄与することを目的とする	生産緑地の基礎資料となるデータベースの構築を実施し、農業委員会にて管理されている農地台帳、固定資産税課にて管理されている地番図(GIS)情報を取り込み、それらを併せて構築することで、特定生産緑地への指定の有無、買取申し出の申請等、事務作業を効率化するものである。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	生産緑地の基礎資料となるデータベースを構築し、農地台帳、地番図(GIS)を併せて構築し、みどり課指定のPC3台へインストールした	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	生産緑地システムを構築したことで、紙媒体で確認していた地図や地番リストなどが容易に検索することが可能となった。また、来年度より行う特定生産緑地地区指定に向けた現況調査等を行うための準備ができた。	生産緑地等管理業務システム化業務委託	1	件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	007細目	01細々目	生産緑地等管理業務システム化事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	—	—	1,221	—	—		
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	1,220				
財源※	特定財源(C)	—	—	0	—		
	一般財源(D)	—	—	1,220	—		
概算人件費(E)	—	—	23,700	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	3.00	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	24,920	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	不明	7 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	今年度構築したシステムを、平成31年度には区画整理の仮換地データや道路台帳データを取り入れ、また、2022年の特定生産緑地の指定に向けた意向調査や現況調査などを行い、システムに取り込んでいくようにする。	元年度 完了 2年度 — 3年度 —

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	41200244	事業名称	青木町公園改修事業	事業区分	主要な事業 政策宣言33・その他
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	258-1110(#33-5333)	新規・継続 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公園利用者。	同左。		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	平成32年度に開催される東京オリンピックの事前トレーニングキャンプ候補地として登録されており、ますます利用者利用者の増加が見込めるため、公園の魅力を増進させる。	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した外柵の交換 樹木の間引きや剪定 		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した外柵の交換 樹木の間引きや剪定 	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	誰もが利用しやすい快適で魅力ある公園になった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	006細目	01細々目	青木町公園改修事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	—	—	221,909	—	15,000					
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	218,484							
財源※	特定財源(C)	—	—	36,811	—					
	一般財源(D)	—	—	181,673	—					
概算人件費(E)	—	—	1,580	—	790					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.20	0.00	—	—	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	220,064	—	15,790					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	令和2年度に、同事業内で、張芝工を新たに実施予定	元年度 休止 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	41200253	事業名称	川口西公園改修事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先 258-1110(#33-5333)	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口西公園は、多くのイベント会場として利用されているが、開設後約30年の経年劣化や新基準等への不適合により、大規模な補修が必要な箇所が多数あるため、改修を実施していくものである。	以下の大規模な修繕を実施する。 ・バリアフリー対策工事 ・芝生広場改修工事 ・灯具交換工事 ・樹木管理工事 ・階段改修工事	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・園路の舗装や階段の手摺設置によるバリアフリー化 ・生育不全の芝生広場の芝張替え	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	市民が安心・安全に利用することができ、憩いや地域コミュニケーションの場を提供できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	007細目	01細々目	川口西公園改修事業	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	—	—	24,862	21,000	21,000			
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	24,854					
財源※	特定財源(C)	—	—	0	0			
	一般財源(D)	—	—	24,854	21,000			
概算人件費(E)	—	—	2,370	2,370	2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	27,224	23,370	23,370			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	公園利用者の安全性と快適な環境を確保するため、引き続き事業を継続する必要がある。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	41200804	事業名称	赤山歴史自然公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言36・その他
担当	都市計画部	赤山歴史自然公園整備室	問い合わせ先	242-6341	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	国の法令:都市計画法、都市公園法、景観法 等 条例:川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速線との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人とが交流するにぎわいあるまちづくりを進める。	・赤山歴史自然公園の整備	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・植栽、雨水排水設備、園路整備、休養施設等整備、管理施設整備、電気設備等工事 (30年度予定箇所完了)	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	事業の進捗率について、平成30年度の目標は95.68%であったのに対し、実績は67.13%。その要因は、ハイウェイオアシスの整備計画の変更によるもの。その他本年度予定していた実施内容は完了した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業の進捗率			指標・目標値の説明(算定式)	当初実施設計時に積算した全体事業費(約120億円)に対し、各年度の予算額の累計を目標値、既支出額と支出予定額の総合計に対し、各年度の決算額の累計を実績値として算定				
	単位	%	指標の種別	活動		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	90.78		93.84		95.68		96.57		97.50
	実績値・達成状況	53.08	未達成	64.03	未達成	67.13	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	02細目	01細々目	赤山歴史自然公園整備事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	1,323,295	1,673,156		799,694		2,921,021	470,417			
決算額(B)=(C)+(D)	665,147	1,369,474		388,089						
財源※	特定財源(C)	474,476	899,237		191,903		954,513			
	一般財源(D)	190,671	470,237		196,186		1,966,508			
概算人件費(E)	39,536	34,242		46,215		47,005	47,005			
従事職員人数(人)	常勤 再任用	4.58 0.60	4.39 0.00	5.85 0.00	5.95 0.00	5.95 0.00	5.95 0.00	5.95 0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	704,683	1,403,716		434,304		2,968,026	517,422			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	事業の全体計画に基づき、工事行程や工事内容を詳細に検討し、事業を進めてきた。今後は、令和4年度のハイウェイオアシス及び公園全体の開設を目指し、事業を進める。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	41200901	事業名称	緑の日推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-6335	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、緑の日推進事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口グリーンフェスティバル実行委員会	川口グリーンフェスティバルの来場者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	10月第2日曜日の「緑の日」を記念し、緑の日推進事業をグリーンセンターで川口グリーンフェスティバルと同時開催する。緑豊かな都市環境づくりの推進のため、市民の緑化に対する意識の高揚と知識の普及を図ることにより、潤いと安らぎのある快適な生活環境を形成する。	川口グリーンフェスティバルにおいて実施する緑の日推進事業に必要な経費を補助金として交付し、民有地の緑化推進事業や緑化意識の啓発事業、知識の普及事業を実施する。	
30年度の実施内容	具体的実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・樹木医体験講習会 ・ツリークライミング ・家庭緑化普及のための苗木等の配布 等	項目	実績
		緑の日推進事業参加者数	488 人
事業の成果【定性的評価】	補助金により緑に関するイベントが行われ、子供を含め参加する多くの市民が、直接緑に親しむとともに楽しみながら、緑に対する意識が高まった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	004細目	01細々目	緑の日推進事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	1,800	1,500		1,500		1,500		1,500		
決算額(B)=(C)+(D)	1,800	1,500		1,500		1,500		1,500		
財源※	特定財源(C)	1,800	1,500		1,500		1,500		1,500	
	一般財源(D)	0	0		0		0		0	
概算人件費(E)	1,640	2,340		2,370		2,370		2,370		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,440	3,840		3,870		3,870		3,870		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	昨年度企画したイベントをひきつづき開催したことにより昨年と同等数の来場者数を得ることができた。 市民の緑への意識や知識を高めるため、多くの方に来場していただけるよう今後も継続して事業のPR等を行なう。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	41200951	事業名称	第2次緑の基本計画策定事業		事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	258-1110(#33-5324)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市緑地法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、事業者	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	「川口市緑の基本計画(改訂版)」の策定後10年が経過し、緑をとりまく環境や社会情勢が大きく変化し、また、まちづくりの新たな方針も示された。そのため、緑の現状・課題を整理し、緑をとりまく環境等の変化に対応し、長期的な視点に立った実現可能な緑の基本計画を新たに策定するため。	第2次緑の基本計画を策定する	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	緑地の整備方針等の検討 機能別方針・地域別方針の検討 パブリックコメントの実施 庁内委員会・緑化対策委員会の開催	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	実現化方策や機能別・地域別方針等の検討。計画案について庁内委員会、緑化対策委員会およびパブリックコメント等での意見を踏まえ計画策定を行い、平成31年4月より新たな計画を推進していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	29、30年の2か年で計画を作成していることから目標値の設定は行わない		
	単位		指標の種別			
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別			
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	006細目	01細々目	第2次緑の基本計画策定事業	
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
予算額(A)	—	8,630		7,776		—		—
決算額(B)=(C)+(D)	—	8,003		7,776		—		—
財源※	特定財源(C)	0		7,776		—		—
	一般財源(D)	8,003		0		—		—
概算人件費(E)		23,400		23,700		—		—
従事職員人数(人)		常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	—
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		31,403		31,476		—		—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	平成29年度より2か年にわたり、第2次緑の基本計画の策定作業を進めてきた。緑化対策委員会や庁内委員会にて内容を検討し、計画策定業務は完了となる。今後、計画に掲げている事業の進捗状況等について、進捗管理を行っていく。	元年度	完了
		2年度	—
		3年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	41201201	事業名称	公園施設長寿命化計画策定事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先 258-1110(#33-5333)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	平成25年度までに策定した対象20公園の川口市公園施設長寿命化計画に、未策定の対象79公園を順次追加して、公園施設のうち主に遊戯施設の計画的な補修・更新を行い、公園利用者の安全・安心を確保する。	追加対象の79公園について、遊具や工作物を対象とした公園施設の点検・調査を行い、その結果に基づき次の事項等を定める。 ・対象都市公園整備状況 ・健全度調査結果、長寿命化の具体的な対策 ・計画全体の実施効果など	
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	策定済みの56公園に加え、新たに19公園の計画策定を実施した。	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	当計画に基づき、適正に維持管理されている公園施設の更新等について、社会資本整備総合交付金交付要綱による公園施設長寿命化対策支援事業の対象事業として交付金を受けることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	004細目	01細々目	公園施設長寿命化計画策定事業				
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	11,934	11,811		6,232		3,550	3,550				
決算額(B)=(C)+(D)	3,726	7,495		6,232							
財源※	特定財源(C)	0	5,500		3,000		1,500				
	一般財源(D)	3,726	1,995		3,232		2,050				
概算人件費(E)	2,460	2,340		1,580		1,580	1,580				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,186	9,835		7,812		5,130	5,130				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	今後は計画対象公園以外の約300の公園緑地についても同計画を策定し、予防保全管理の実施によるストックの有効活用と、公園利用者の安全・安心の確保を行う必要がある。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施